



2024年11月8日

各位

会社名 サンコール株式会社
代表者名 代表取締役 奈良 正
(コード：5985、東証スタンダード)
問合せ先 代表取締役 専務執行役員
管理本部長 金田 雅年
(TEL. 075-881-5280)

**固定資産減損損失の計上及び営業外費用（為替差損）の計上並びに
2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2025年3月期第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）において、固定資産の減損損失及び営業外費用（為替差損）を計上することといたしました。あわせて、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 固定資産の減損損失の計上

当社は、2024年4月19日に公表しております通り、既に2024年3月期においてHDD用サスペンション事業で保有する固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果7,326百万円の減損損失を計上しております。

また当社は、2024年9月27日に公表しております通り、2025年3月末を目途としHDD用サスペンション事業から撤退することを決定しております。

既に当該事業に関する投資は中止しておりますが、発注済分で2025年3月期第2四半期（中間期）に計上した固定資産465百万円の減損損失を計上することといたしました。

2. 営業外費用（為替差損）の計上

2025年3月期第2四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、為替相場の変動により為替差損が発生したため、営業外費用として為替差損6億33百万円を計上いたしました。これは、主として当社グループが保有する外貨建債権債務に対する為替相場が前期末に対し、円高に推移したことにより発生した為替差損であります。なお、2025年3月期第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）の為替差損は4億10百万円となります。

上記の金額は、2025年3月期第2四半期（中間期）末時点での為替相場による為替差損益であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異について

（1）2025年3月期第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 27,500	百万円 △300	百万円 △300	百万円 △400	円. 銭 △13.28
実績値（B）	30,281	27	△321	△1,068	△35.47
増減額（B－A）	2,781	327	△21	△668	—
増減率（％）	10.1	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2024年3月期第2四半期）	25,169	△1,406	△834	△681	△22.66

（2）修正の理由

売上高及び営業利益は、通信関連が好調に推移したことに加え、円安の影響があり、予想値を上回りました。しかし経常利益は営業外損益（為替差損）の影響により、予想値を下回りました。また上記1に記載のとおり、固定資産の減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回の予想より大きく下回りました。

3. 業績に与える影響

業績に与える影響につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上